

実践タイトル

英語によるコミュニケーションの楽しさを生み出す
個別の音声支援の充実



ひとこと

南小学校では、学校教育目標「あたたかい心の花をさかせ 自分づくりをすすめる子」のもと、子どもたちが毎日元気に過ごしています。

実践者 橋下 杏子

学校名：高山市立南小学校
学校所在地：岐阜県高山市岡本町1丁目18番地
TEL：0577-32-0013
URL：<https://www.city.takayama.lg.jp/kurashi/100020/1000114/1000761/1009708/index.html>

使用するICT機器・準備物

指導者

デジタル教材	指導者用デジタル教科書(教材), その他(MetaMoJi Classroom)
使用端末	Windows
その他機器	電子黒板

学習者

デジタル教材	学習者用デジタル教科書・教材セット, その他(MetaMoJi Classroom)
使用端末	1人1台使用, iPad OS
その他機器	

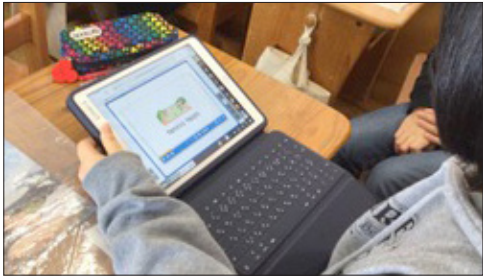
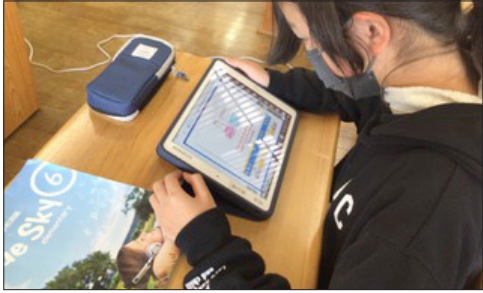
学校内のICT環境, 活用実態

本校は2020年夏、各教室に1台PC・電子黒板が導入された。電子黒板と指導者用デジタル教科書の操作、利用方法について研修を受け、効果的な学習の在り方を工夫してきた。2020年度3月より児童1人1台端末(iPad)と授業支援システムMetaMoJi Classroomが整備された。電子黒板と指導者用デジタル教科書で拡大して示すことで、児童は同じ部分に着目し、学びを共有することができる。また、授業支援システムMetaMoJi Classroomを用いて、児童は自分のノートを仲間と共有することができる。教師は一人一人の学習の到達度を一度に把握し、支援に活かすことができる。

児童は5年生時から指導者用デジタル教科書を使った学習を行っており、算数の学習では電子黒板上で図形やグラフを自分で操作したり、社会の学習では映像資料を活用したり

することで、視覚的に理解を深めることができた。また、英語の学習では何度も繰り返して音声を聞くことで正しく発音を練習することができ、意欲的に取り組んでいる。

英語の学習においては、これまでは指導者用デジタル教科書を用いて一斉に音声を聞いたり、教師が準備したワークシートに自分の考えを書いたりしていたが、令和3年度「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」により、1人1台端末に英語の学習者用デジタル教科書が整備された。児童は学習者用デジタル教科書を用いることにより、自分が分かるまで音声を聞き直したり、文字をなぞって自分の考えを書き込んだりしている。児童が自分の理解度に合わせて学習を補充、発展することができる環境が充実した。

授業の流れ	主な学習活動	▶教師の手立て <input checked="" type="checkbox"/> 留意点 機器・教材
<p>導入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 指導者用デジタル教科書を用いて、前時に学習した部活動を表す語句を復習した。 ■ 1人1台端末で、学習者用デジタル教科書のJingleを用いて、部活動を表す語句を復習した。  <ul style="list-style-type: none"> ■ 発音が難しいものやリズムなど全体で確認した。 ■ ALTとJTEのやり取りから、本時の学習内容をつかんだ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>JTE : There are many clubs. What club do you want to join?</p> <p>ALT : I like basketball. I want to join the basketball team. I want to dunk the ball. How about you?</p> <p>JTE : I like music. I want to join the brass band. How about you? What club do you want to join?</p> <p>児童A : Soccer!</p> <p>児童B : Chorus!</p> <p>JTE : Oh, you want to join the soccer team. You want to join the chorus team.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ 本時の課題を確認した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>中学校でやってみたい部活動を伝え合おう。</p> </div>	<p>指導者用デジタル教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ デジタル教科書で着目させたい部分を拡大し、文字とつながらながら発音を確認した。 <p>学習者用デジタル教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 児童が自分で繰り返し聞いたり、声に出したりする場を設けることで、部活動を表す語句や相手に尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しめるようにした。 <p><input checked="" type="checkbox"/> 一人一人の学習の様子を見届け、正しく発音できているか確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ALTとJTEのやり取りでは、児童同士のやり取りで本時の使わせたい表現を聞かせるようにした。 ▶ やり取りで児童に問いかけ、本時の課題を捉えられるようにした。 <p>指導者用デジタル教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 話題にしている語句や児童が伝えたいことに合わせて、絵や文字を拡大することで、児童の理解を助け、文字と合わせながら理解が深まるようにした。
<p>展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学習者用デジタル教科書のActivityのところ、自分がやってみたい部活動を考えてメモした。 ■ 導入でALTやJTEが用いていた表現を思い起こし、本時の課題を達成するために使える表現を、指導者用デジタル教科書を見せながら確認した。 ■ 1人1台端末で、学習者用デジタル教科書のChantを用いて、相手に尋ねたり答えたりする表現を練習した。 	<p>学習者用デジタル教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 教科書に載っていない部活動でも、これまでの学習を思い起こして伝え方を考えたり、自分で調べたりしてメモするようになった。 ▶ Chantでは、自分の理解度や定着度に合わせて、速さ、音声ありなし、文字ありなしを選びながら練習するようになった。 <p><input checked="" type="checkbox"/> 児童から、「やってみたい部活動がいくつもある」、「迷っている」場合はどのように伝えればよいか質問が出たため、andやorを用いて伝えることができることを、例を示しながら確認した。</p>

授業の流れ	主な学習活動	▶教師の手立て <input checked="" type="checkbox"/> 留意点 機器・教材
	<p>■ やってみたい部活動についてペアで伝え合った。</p> <div data-bbox="363 264 970 613" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>児童C : Hello. What club do you want to join? 児童D : I want to join the art club. I like arts and crafts. 児童C : Oh, nice! 児童D : What club do you want to join? 児童C : I like singing. I want to join the chorus club or the track and field team. 児童D : Good! Thank you! 児童C : Thank you!</p> </div> <p>■ ペアを変えて、数回やり取りした。</p>  <p>■ やり取りで分かった仲間のことをメモした。</p> 	<p><input checked="" type="checkbox"/> やり取りでは、児童が伝えたい内容を大切に。相手に反応しながら伝えるなど、相手意識をもってコミュニケーションに取り組む姿勢を価値付けた。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 児童のやり取りを見届け、正しい英語表現で伝えられているか、適宜修正した。</p> <p>指導者用デジタル教科書</p> <p>▶ 指導者用デジタル教科書で示しながら繰り返し確認することで、やり取りで使える表現に慣れ親しめるようにした。</p> <p>学習者用デジタル教科書</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> やり取りの途中でも、部活動を表す語句、相手への尋ね方や答え方が分からないときには、デジタル教科書で音声を聞いて確認するようにした。</p>
<p>まとめ</p>	<p>■ 学習者用デジタル教科書に、やり取りで話したことをもとに、自分がやってみたい部活動について英文で書いた。</p> <p>■ 例文をなぞり、自分のことについて書いた。</p> <p>■ やり取りでのメモと、自分がやってみたい部活動について書いた英文のページをスクリーンショットで撮り、MetaMoJi ClassRoomのノートに貼り付けて提出した。</p>  <p>■ 本時ではやってみたい部活動を伝えられたことを振り返り、次時では、中学校でやってみたいことについて伝え合うことを確認した。</p>	<p>指導者用デジタル教科書</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 書く前に例文に着目させ、英文を書くときのルールを確認した。</p> <p>学習者用デジタル教科書</p> <p>▶ 書きたい部分を拡大しながら書くことで、小さく書くことが苦手な児童も4本線に沿って正しく書けるようにした。</p> <p>MetaMoJi ClassRoom</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 児童が提出したのを見届け、綴りや文法の間違いなど、正しく書くことができているか確認した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 児童のノートを全体で共有し、間違いが多かったことや、本時できるようになったことを全体で共有した。</p>

児童の反応, 実践の手ごたえ

学習者用デジタル教科書を活用して学習を積み重ねてきた結果, 6年生を対象に行った意識調査では, 「英語の勉強は分かる」と答えた児童は8割を超えた。また, 「英語の学習は楽しい」, 「自分の考えや気持ちを伝えようと挑戦できた」と答えた児童は9割を超えた。多くの児童が, コミュニケーションの楽しさを感じ, 自分の考えや気持ちを伝えようとコミュニケーション活動に取り組むことができたと考える。児童からは以下のような感想が得られた。

- 英語の正確な発音を聞いたり, 分からなかった英文を何度も聞いたりすることができる。
- 自分のペースで何度も繰り返し英語が聞けるため, 自分で学習を進めることができる。
- 自分のタブレットで発音を聞くことができるから発音が分かりやすい。
- 何回も繰り返し聞くと, よく分かるし, 楽しく覚えることができる。
- 聞いたり書いたりできるし, 自分でもう1回聞きたいときに聞くことができる。

- 一人一人が得意なことと苦手なことは違うので, 一人一人違う音声を聞くことができて分かりやすい。

児童も感じているように, 英語の学習において一人一人が聞きたい音声を繰り返し聞くことができることは効果的である。特に Chant ではリズムとともに表現に慣れ親しむことができる。速さ, 音声のありなし, 字幕のありなしの様々な型があり, 児童は自分の理解度に合わせて選んで学習することができる。全体で音声を聞くときには, 発音がよく聞こえなかったり, 自分が正しく発音できているか分からなかったりしたことも, 学習者用デジタル教科書を用いることで, 効果的に学習を進めることができた。またこれまでは教師がワークシートを作成して英文を書く活動を進めていたが, デジタル教科書では例文をなぞって練習したり, 自分の考えを書き込んだりすることができる。4本線の幅を拡大して書くことができるため, 書くことが苦手な児童に合わせた支援をすることができる。

まとめ

学習者用デジタル教科書を用いることによって, 児童一人一人に合った学習が充実すると考えている。自分の苦手な部分を繰り返して補充したり, 映像資料や Word List

を活用して知見を広げたり, 個々の英語への興味関心を高めることにつながると感じている。

その他

本校は2021年度, 1人1台端末に英語の学習者用デジタル教科書が整備されたことにより, 学習者用デジタル教科書と授業支援システムを併せて効果的に学習を展開することができた。今後, 1人1台端末を

家庭学習でも活用することによって, 家庭学習で音声に慣れ親しむことを増やし, 授業では仲間とのコミュニケーション活動に時間をかけるなどの学習展開の工夫に取り組んでみたい。